

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2006-3515 (P2006-3515A)

【公開日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2006-001

【出願番号】特願 2004-178151 (P2004-178151)

【国際特許分類】

**G 0 3 B 27/52 (2006.01)**

**B 6 5 H 5/00 (2006.01)**

**B 6 5 H 5/06 (2006.01)**

**G 0 3 B 27/46 (2006.01)**

【F I】

G 0 3 B 27/52 B

B 6 5 H 5/00 B

B 6 5 H 5/06 F

G 0 3 B 27/46

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 2 日 (2007.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シート状の感光性フィルムを保持し載置するフィルム載置手段と、

前記フィルム載置手段に載置された感光性フィルムを搬送し、所定の粘着力を有し、前記搬送される感光性フィルムに当接してその表面上の異物を除去可能な粘着ローラを有する搬送手段と、

前記搬送された感光性フィルムに診断画像信号に対応する潜像を形成する露光手段と、

前記フィルム載置手段、前記搬送手段及び前記露光手段を遮光状態に保つことが可能であり前記搬送手段の粘着ローラ近傍を開放可能なカバー手段と、を備える医療用記録装置のメンテナンス方法であって、

前記カバー手段により粘着ローラ近傍を開放し、

少なくとも片面に前記粘着ローラの粘着力よりも大きな粘着力を有し、ローラ軸方向に可撓性を有するシート状体を前記粘着ローラに係合させ、

この係合状態で前記粘着ローラを回転し、前記シート状体を搬送させながら前記粘着ローラの表面上の異物を前記シート状体に転写させ、前記シート状体を取り除くことを特徴とする医療用記録装置のメンテナンス方法。

【請求項 2】

前記異物の前記シート状体への転写後、前記シート状体と前記粘着ローラの係合を解除する請求項 1 に記載の医療用記録装置のメンテナンス方法。

【請求項 3】

前記粘着ローラが感光性フィルムフィルムを搬送するニップローラ機能を兼ねる請求項 1 または 2 に記載の医療用記録装置のメンテナンス方法。

【請求項 4】

前記シート状体と前記粘着ローラに係合させ、前記粘着ローラを正逆転させる請求項 1

， 2 または 3 に記載の医療用記録装置のメンテナンス方法。

【請求項 5】

前記粘着ローラがフィルムの潜像形成面に当接する請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の医療用記録装置のメンテナンス方法。